

1660 | 美術教育法 III

2 単位 (通信授業 2 単位)

大坪圭輔教授、山口正己講師

授業の概要と目標

教育活動の理念やシステムは時代の思潮によって変革され、変容していく。教育実践者はその改革が在るべき姿として正しいものといえるのか、その目指すところは未来の理想となり得るものかを絶えず検証する姿勢を持たねばならない。また造形美術教育はその性格や内容から、社会思潮を積極的に受け止め、時代に対応した教育の意義や価値を検証する必要がある。そのような研究は教育史論をはじめとして、実践論、教育哲学論、造形芸術論などを踏まえた学際的な性格を持つものである。ここでは障害者の造形美術教育にまで視野を広げ、今日的な課題を中心として、研究的姿勢を身に付けることを目的とする。

課題の概要

○ 通信授業課題 1

「身近な中学生の作品 2 点を取り上げ、造形美術教育の視点から解説すること」

実際にその中学生が描いているところを観察するほうが望ましいが、雑誌や各種教科書などに掲載されているものでもよい。また、作品は平面でも立体でもよい。

作品のコピーを添付し、作者の学年や性別、素材や技法、出典などを明示すること。

○ 通信授業課題 2

教科書『美術教育資料研究』第 IV 章及び『美術教育の題材開発』第 I 章、第 V 章の中から、今日的課題として重要な内容をひとつ選び、その内容について自分の意見や考えを述べること。

* 課題については学習指導書『造形文化科目・教職に関する科目 平成 29 年度』を必ず参照すること。

授業計画

[通信授業]

教科書『美術教育資料研究』第 IV 章及び『美術教育の題材開発』第 I 章、第 V 章を精読し、自身の教育観を広げられるようにする。また、現在の教育改革についても情報を集め、考察を深めて行くようにする。

- ・『美術教育資料研究』第 IV 章 現代美術教育の諸相
- ・『美術教育の題材開発』第 I 章 美術教科の特徴と今日的課題
第 V 章 特別支援教育と造形

成績評価の方法

◎ 科目試験

上記授業内容から出題する。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 3～4 年次

[履修条件] 教職課程 (中学、高校 1 種 [美術]) に登録していること。

「美術教育法 I・II」の単位を修得しているか、同時に履修登録すること。

[備 考] なし

教材等

教科書：大坪圭輔『美術教育資料研究』(武蔵野美術大学出版局 2014 年)

三澤一実監修『美術教育の題材開発』(武蔵野美術大学出版局 2014 年)

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 平成 29 年度』

(武蔵野美術大造形学部学通信教育課程 2017 年)

* 「美術教育法 II」のスクーリング時にセット販売

・文部科学省検定済小学校教科書

『ずがこうさく 1・2 上』『ずがこうさく 1・2 下』『図画工作 3.4 上』『図画工作 3・4 下』

『図画工作 5・6 上』『図画工作 5・6 下』(開隆堂出版)

・文部科学省検定済中学校教科書

『美術 1』『美術 2・3』(開隆堂出版)

・文部科学省検定済高等学校教科書

『高校美術 1』『高校美術 2』『高校美術 3』(日本文教出版)

その他

参考図書：大坪圭輔、三澤一実編『美術教育の動向』(武蔵野美術大学出版局 2009 年)